

株式会社AOKIホールディングス
第40回 定時株主総会
招集ご通知



Fashion



Bridal



Entertainment

開催日時 平成28年6月29日(水曜日)
午前10時(受付:午前9時)

開催場所 ホテルニューオータニ
ザ・メインアーケード階
おり鶴 麗の間

議案

第1号議案 取締役15名選任の件

第2号議案 監査役1名選任の件

株主総会にご出席いただけない場合



郵送又はインターネットにより
議決権を行使くださいますよう
お願い申し上げます。

議決権行使期限 平成28年6月28日(火曜日)
午後5時まで

詳細はP3をご覧ください▶

CONTENTS

■ 株主総会招集ご通知

第40回定時株主総会招集ご通知	2
議決権行使方法についてのご案内	3
インターネットによる議決権行使方法のご案内	4

■ 株主総会参考書類

第1号議案 取締役15名選任の件	6
第2号議案 監査役1名選任の件	12

(添付書類)

■ 事業報告

1 企業集団の現況	13
2 株式の状況	24
3 会社役員の状況	25
4 会計監査人の状況	28
5 業務の適正を確保するための体制及びその運用状況	29
6 剰余金の配当等の決定に関する方針	32

■ 連結計算書類

連結貸借対照表	33
連結損益計算書	34

■ 計算書類

貸借対照表	35
損益計算書	36

■ 監査報告書

連結計算書類に係る会計監査人の監査報告	37
会計監査人の監査報告	38
監査役会の監査報告	39

■ 株主通信

トップメッセージ	44
連結業績及び配当金の推移	45
トピックス	46

グループ経営理念

AOKIグループは経営理念と事業コンセプトに基づき事業を展開しております。

経営理念

- 「**社会性の追求**」 ビジネスそのもので、世の中のためになるとうことです。
つまり、たゆまぬ努力の継続により、顧客満足を創造し実践してゆくことです。
- 「**公益性の追求**」 社会性の追求をした上でさらに、適正利潤を確保し、適正配分することです。
つまり、税金等を支払うことにより社会還元してゆくことです。
- 「**公共性の追求**」 ビジネス以外でも、世の中の為になる生き方を追求することです。
つまり、チャリティーの開催、地域社会発展に寄与する文化活動の推進、
あるいは個人として、ボランティアな精神活動に心掛けてゆくことです。

事業コンセプト

- 生命美の創造** さまざまなライフステージで人々の人生を美しく輝かせたい
という思いで事業を展開しています。

AOKIグループ体制図



証券コード8214
平成28年6月7日

株主の皆様へ

横浜市都筑区茅ヶ崎中央24番1号
株式会社AOKIホールディングス
代表取締役社長 青木彰宏

第40回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第40回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご出席くださいますようご通知申し上げます。

なお、当日ご出席願えない場合は、書面又は電磁的方法（インターネット）によって議決権を行使することができますので、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討のうえ、平成28年6月28日（火曜日）午後5時までに議決権を行使くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1 日時 平成28年**6月29日**（水曜日） 午前**10時**

2 場所 東京都千代田区紀尾井町4番1号
ホテルニューオータニ ザ・メインアーケード階 おり鶴 麗の間

3 目的事項

報告
事項

1. 第40期（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第40期（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）計算書類報告の件

決議
事項

- 第1号議案 取締役15名選任の件
- 第2号議案 監査役1名選任の件

以上

※ 株主総会参考書類並びに事業報告、計算書類及び連結計算書類に記載すべき事項を修正する必要が生じた場合は、修正後の事項を当社ホームページに掲載いたしますのでご了承ください。

※ 第40回定時株主総会招集ご通知添付書類のうち、以下の事項につきましては、法令及び当社定款第15条の規定に基づき、インターネット上の当社ホームページに掲載しておりますので、本定時株主総会招集ご通知添付書類には記載しておりません。

- 事業報告 …新株予約権に関する事項
- 連結計算書類…連結株主資本等変動計算書、連結注記表
- 計算書類 …株主資本等変動計算書、個別注記表

したがって、本定時株主総会招集ご通知添付書類は、会計監査人が会計監査報告を作成するに際して監査をした連結計算書類又は計算書類の一部です。

当社ホームページ

<http://www.aoki-hd.co.jp/>

議決権行使方法についてのご案内

議決権は、株主の皆様が当社の経営にご参加いただくための大切な権利です。
議決権の行使方法には、**3つの方法**がございます。

当日ご出席の場合

当日株主総会にご出席の際は、議決権行使書用紙を会場受付へご提出ください。

株主総会開催日時：**平成28年6月29日（水曜日）**
午前10時（受付：午前9時）



当日ご出席願えない場合

当日ご出席願えない場合は、以下のいずれかの方法により議決権を行使することができます。



郵送による議決権の行使

同封の議決権行使書用紙に賛否をご表示のうえ、下記行使期限までに到着するようご返送ください。

行使期限：**平成28年6月28日（火曜日）**
午後5時までに到着



インターネットによる議決権の行使

<http://www.evote.jp/>

インターネットにより上記専用サイトにアクセスしてください。
ログインID・仮パスワードをご利用になり、画面の案内に従って、議決権を行使してください。

行使期限：**平成28年6月28日（火曜日）**
午後5時まで受付

インターネットによる議決権行使方法のご案内



お手元に
議決権行使書用紙を
ご用意ください



インターネットによる議決権行使の場合

インターネットによる議決権行使は、**パソコン、スマートフォン又は携帯電話**(iモード、EZweb、Yahoo!ケータイ)※1から、当社の指定する議決権行使サイト (<http://www.evote.jp/>) にアクセスしていただくことによるのみ実施可能です。(ただし、毎日午前2時から午前5時までは取扱いを休止します。)

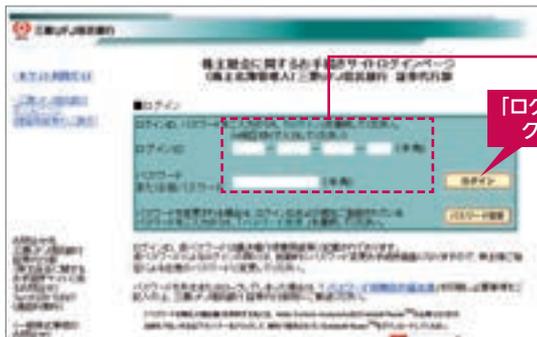
なお、ご不明な点等がございましたらヘルプデスクへお問い合わせください。

① 議決権行使サイトにアクセスする



<http://www.evote.jp/>

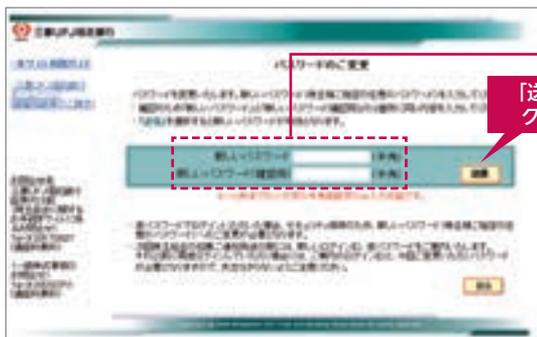
2 ログインする



お手元の議決権行使書用紙の右下に記載された「ログインID」及び「仮パスワード」を入力

ログインID
XXXX-XXXX-XXXX-XXX
仮パスワード
XXXX-XXXX-XXXX-XXX

3 パスワードを登録する



「新しいパスワード」と「新しいパスワード(確認用)」の両方を入力

以降は画面の案内に沿って
賛否をご入力ください。

- ※1 「iモード」は(株)NTTドコモ、「EZweb」はKDDI(株)、「Yahoo!」は米国Yahoo!Inc.、「Yahoo!ケータイ」はソフトバンク(株)の商標、登録商標又はサービス名です。
- ※2 パソコンによる議決権行使は、インターネット接続にファイヤーウォール等を使用されている場合、アンチウイルスソフトを設定されている場合、proxyサーバーをご利用の場合等、株主様のインターネット利用環境によっては、ご利用できない場合もございます。
- ※3 携帯電話による議決権行使は、iモード、EZweb、Yahoo!ケータイのいずれかのサービスをご利用ください。又、セキュリティ確保のため、暗号化(SSL通信)及び携帯電話情報の送信が不可能な機種には対応していません。
- ※4 議決権行使サイトへのアクセスに際しての費用(インターネット接続料金・電話料金等)は、株主様のご負担となります。又、携帯電話をご利用の場合は、パケット通信料・その他携帯電話利用による料金が必要になりますが、これらの料金も株主様のご負担となります。

システム等に関するお問い合わせ(ヘルプデスク)

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部



0120-173-027 (通話料無料)

受付時間

午前9時から午後9時まで

第1号議案 取締役15名選任の件

本定時株主総会終結の時をもって取締役全員（15名）が任期満了となります。つきましては、取締役15名の選任をお願いしたいと存じます。

取締役候補者は次のとおりです。

1 あお き ひろ のり
青木 拓 憲（昭和13年9月23日生）

再任

■ 略歴、当社における地位、担当（重要な兼職の状況）

昭和51年8月	当社設立	代表取締役社長	（重要な兼職の状況）
平成19年1月	(株)アニヴェルセルHOLDINGS代表取締役会長	(株)アニヴェルセルHOLDINGS代表取締役副会長	
平成22年6月	代表取締役会長（現任）	(株)アニヴェルセルHOLDINGS代表取締役副会長（現任）	

■ 所有する当社の株式数 2,560,666株

2 あお き たか ひさ
青木 寶 久（昭和21年1月10日生）

再任

■ 略歴、当社における地位、担当（重要な兼職の状況）

昭和51年8月	当社設立	常務取締役	（重要な兼職の状況）
昭和56年6月	取締役副社長	(株)アニヴェルセルHOLDINGS代表取締役会長	
平成16年6月	アニヴェルセル(株)取締役会長（現任）	アニヴェルセル(株)取締役会長	
平成19年1月	(株)アニヴェルセルHOLDINGS代表取締役社長		
平成22年6月	代表取締役副会長（現任）	(株)アニヴェルセルHOLDINGS代表取締役会長（現任）	

■ 所有する当社の株式数 2,560,488株

3 あお き あき ひろ 青木 彰 宏 (昭和45年5月20日生)

再任

■ 略歴、当社における地位、担当 (重要な兼職の状況)

平成6年4月	当社入社	平成26年1月	(株)AOKI代表取締役会長 (現任)
平成15年5月	オリヒカ事業創業		
平成17年6月	執行役員		(重要な兼職の状況)
平成20年4月	(株)オリヒカ代表取締役社長		(株)アニヴェルセルHOLDINGS取締役副社長
平成21年6月	常務取締役		(株)AOKI代表取締役会長
平成22年4月	(株)AOKI取締役副会長		
平成22年6月	代表取締役社長 (現任)		
	(株)アニヴェルセルHOLDINGS取締役副社長 (現任)		

■ 所有する当社の株式数 2,560,000株

4 は せ が わ は ち ろ う 長谷川 八 郎 (昭和18年4月27日生)

再任

■ 略歴、当社における地位、担当 (重要な兼職の状況)

昭和51年8月	当社入社 商品部長	平成22年6月	取締役副社長 (現任)
昭和55年7月	取締役		
昭和57年11月	常務取締役		
平成8年6月	専務取締役		
平成14年4月	店舗開発本部長兼キッズ事業部長		
平成16年3月	グループ店舗開発担当 (現任)		

■ 所有する当社の株式数 241,800株

5 な か ば や し ゆ う す け 中 林 佑 丞 (昭和21年2月25日生)

再任

■ 略歴、当社における地位、担当 (重要な兼職の状況)

昭和63年9月	当社入社 商品Ⅱ部長	平成22年6月	取締役副社長 (現任)
平成8年6月	常務取締役		
平成15年5月	グループ商品・物流・経営企画・店舗開発担当		(重要な兼職の状況)
平成15年6月	専務取締役		(株)ヴァリック代表取締役社長
平成18年4月	グループ経営戦略企画担当		
平成21年1月	(株)ヴァリック代表取締役社長 (現任)		

■ 所有する当社の株式数 78,932株

6 た むら はる お 田 村 春 生 (昭和32年2月21日生)

再任

■ 略歴、当社における地位、担当（重要な兼職の状況）

昭和55年4月	(株)横浜銀行入行	平成19年6月	取締役
平成11年7月	同行横浜シティ支店長	平成20年4月	常務取締役
平成15年4月	アニヴェルセル(株)入社 取締役管理 本部長	平成22年4月	グループ管理・財務担当（現任）
平成16年10月	同社専務取締役	平成22年6月	取締役副社長（現任）
平成18年6月	当社入社 執行役員 グループ財務担当		

■ 所有する当社の株式数 52,000株

7 しま や のり あき 島 屋 紀 明 (昭和21年7月22日生)

再任

■ 略歴、当社における地位、担当（重要な兼職の状況）

平成10年6月	当社取締役	平成21年6月	常勤監査役
平成11年6月	当社入社 管理本部副本部長	平成22年6月	常務取締役（現任）
平成13年4月	経営企画室長		グループ人事担当
平成14年9月	アニヴェルセル(株)代表取締役副社長	平成22年7月	グループ戦略担当
平成19年5月	当社入社 経営戦略企画室部長	平成27年6月	グループ渉外担当（現任）

■ 所有する当社の株式数 34,000株

8 くり た ひろし 栗 田 宏 (昭和28年12月7日生)

再任

■ 略歴、当社における地位、担当（重要な兼職の状況）

昭和52年4月	当社入社	平成22年7月	常務執行役員
平成16年4月	快活事業部長		グループ人事担当
平成17年6月	(株)ヴァリック取締役	平成23年6月	常務取締役（現任）
平成17年10月	同社代表取締役会長	平成27年6月	グループ新規事業担当（現任）
平成19年6月	同社代表取締役社長		

■ 所有する当社の株式数 89,000株

9 しみず あきら 清水 彰 (昭和30年3月10日生)

再任

■ 略歴、当社における地位、担当 (重要な兼職の状況)

昭和52年4月	当社入社	平成18年4月	AOKIカンパニー プレジデント
昭和61年2月	店舗開発部長	平成20年4月	取締役
平成2年6月	取締役		(株)AOKI代表取締役社長 (現任)
平成8年6月	常務取締役	平成26年1月	常務取締役 (現任)
平成14年3月	営業本部長		(重要な兼職の状況)
平成15年5月	メンズ事業部長		(株)AOKI代表取締役社長
平成15年6月	専務取締役		

■ 所有する当社の株式数 91,560株

10 あら き わたる 荒木 渉 (昭和31年7月5日生)

再任

■ 略歴、当社における地位、担当 (重要な兼職の状況)

昭和54年3月	(株)トリイ (現 (株)AOKIホールディングス) 入社	平成27年6月	常務取締役 (現任)
平成17年6月	メンズ事業部計画管理室長		グループ人事担当 (現任)
平成19年6月	執行役員	平成28年4月	(株)AOKI取締役副社長 (現任)
平成20年4月	(株)AOKI常務取締役経営戦略企画担当		(重要な兼職の状況)
平成22年10月	同社専務取締役 営業部長		(株)AOKI取締役副社長
平成26年4月	同社人事本部長 (現任)		

■ 所有する当社の株式数 5,400株

11 の ぐち たつ み 野口 達巳 (昭和37年3月18日生)

再任

■ 略歴、当社における地位、担当 (重要な兼職の状況)

昭和60年4月	当社入社	平成22年10月	(株)AOKI専務取締役
平成5年8月	商品戦略企画室長	平成26年1月	グループ海外戦略・物流担当
平成15年6月	執行役員	平成27年6月	グループ商品戦略担当 (現任)
平成18年6月	グループ商品担当	平成28年4月	(株)AOKI取締役副社長 (現任)
平成19年6月	取締役		(重要な兼職の状況)
平成20年4月	常務取締役 (現任)		(株)AOKI取締役副社長
平成22年4月	グループ海外戦略担当		

■ 所有する当社の株式数 16,000株

なか むら ひろ あき
12 中村宏明 (昭和38年9月13日生)

再任

■ 略歴、当社における地位、担当 (重要な兼職の状況)

昭和62年4月	当社入社	平成23年8月	取締役
平成10年11月	アニヴェルセル事業部長		アニヴェルセル(株)代表取締役社長
平成13年8月	(株)ヴァリック経営企画室長	平成26年1月	常務取締役 (現任)
平成14年6月	同社取締役	平成27年4月	グループ戦略担当 (現任)
平成15年4月	同社常務取締役営業統括部長	平成28年4月	(株)AOKI取締役副社長 (現任)
平成16年7月	同社専務取締役営業本部長		
平成17年4月	同社代表取締役社長	(重要な兼職の状況)	
平成21年10月	(株)AOKI取締役副社長	(株)AOKI取締役副社長	
平成23年6月	常務取締役グループ業務改革担当		

■ 所有する当社の株式数 30,000株

あお き まさ みつ
13 青木 柁 允 (昭和44年4月21日生)

再任

■ 略歴、当社における地位、担当 (重要な兼職の状況)

平成5年4月	当社入社	(重要な兼職の状況)
平成14年9月	アニヴェルセル(株)出向	(株)アニヴェルセルHOLDINGS代表取締役社長
平成16年6月	同社取締役副社長	アニヴェルセル(株)取締役副会長
平成20年4月	(株)アニヴェルセルHOLDINGS取締役副社長	
平成22年3月	アニヴェルセル(株)取締役副会長 (現任)	
平成22年6月	常務取締役 (現任) (株)アニヴェルセルHOLDINGS代表取締役社長 (現任)	

■ 所有する当社の株式数 2,560,000株

いな がき みのる
14 稲垣 稔 (昭和22年8月29日生)

独立

社外

再任

■ 略歴、当社における地位、担当 (重要な兼職の状況)

昭和57年8月	公認会計士登録	(重要な兼職の状況)
昭和61年2月	当社監査役	公認会計士
昭和62年10月	常勤監査役	
平成26年6月	取締役 (現任)	

■ 所有する当社の株式数 100,220株

15 尾原 蓉子 (昭和13年10月7日生)

独立 社外 再任

■ 略歴、当社における地位、担当（重要な兼職の状況）

昭和37年4月	旭化成工業(株) (現 旭化成(株)) 入社	平成25年7月	(一社)ウィメンズ・エンパワメント・イン・ファッション代表理事
平成3年6月	同社マーケティング部FB人材開発部長		(現任)
平成6年6月	(株)旭リサーチセンター取締役	平成27年6月	取締役 (現任)
平成11年3月	(財)ファッション産業人材育成機構 I F I ビジネス・スクール学長		(重要な兼職の状況)
平成12年3月	エイボン・プロダクツ(株)取締役		(一社)ウィメンズ・エンパワメント・イン・ファッション代表理事
平成20年5月	(株)良品計画取締役		
平成21年4月	(財)ファッション産業人材育成機構 I F I ビジネス・スクール名誉学長		

■ 所有する当社の株式数 一 株

- (注) 1. 取締役候補者 青木 拓憲、青木 寶久及び青木 柁允の3氏は、(株)アニヴェルセル HOLDINGSの代表取締役であり、同社は当社の議決権の39.2%を保有するその他の関係会社です。
2. 取締役候補者 中林 佑丞氏は、(株)ヴァリックの代表取締役であり、同社は当社の完全子会社です。
3. 取締役候補者 青木 彰宏及び清水 彰の両氏は、(株)AOKIの代表取締役であり、同社は当社の完全子会社です。
4. その他候補者と当社との間には、特別の利害関係はありません。
5. 取締役候補者 稲垣 稔及び尾原 蓉子の両氏は、社外取締役候補者です。
6. 社外取締役候補者に関する事項は次のとおりです。
- (1) 社外取締役候補者の選任理由
- ① 稲垣 稔氏は、公認会計士としての経験を重ね、豊富な専門知識と経営に関する高い識見を有しており、客観的視点で、独立性をもって経営の監視を遂行していただくには適任であること、これにより、取締役会の透明性の向上及び監督機能の強化にも繋がるものと判断し、社外取締役候補者といたしました。なお、同氏は、これまで直接会社経営に関与された経験はありませんが、上記の理由により、社外取締役としての職務を適切に遂行していただけるものと判断いたしました。
 - ② 尾原 蓉子氏は、ファッション・ビジネスの草分けとして50年の体験に基づく将来への洞察及びファッションのもの作りと流通の変革に関する提言活動を推進されています。これらのファッション業界に関する豊富な知識と経験、また会社経営での経験に基づき、当社の経営全般に有用な助言を行っていただけるものと判断し、社外取締役候補者といたしました。
 - ③ 当社は稲垣 稔及び尾原 蓉子の両氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。
- (2) 社外取締役候補者が当社の社外取締役に就任してからの年数
稲垣 稔氏及び尾原 蓉子氏の当社の社外取締役としての在任期間は、本総会終結の時をもってそれぞれ2年及び1年となります。また、稲垣 稔氏は、過去に当社の監査役でありました。

7. 指名に当たっての方針と手続き

取締役候補者については、取締役会全体としての知識・経験・能力のバランスを考慮し、個人的にも専門性や企業倫理を有した確かつ迅速な意思決定が出来ること、また経営理念を追求し続けられることを基準に選任、指名しております。手続きについては、代表取締役が提案し、独立社外役員会の検討、助言を踏まえ取締役会で決議しております。

第2号議案 監査役1名選任の件

本定時株主総会終結の時をもって監査役4名のうち渡邊一正氏が任期満了となりますので、監査役1名の選任をお願いしたいと存じます。

なお、本議案につきましては、監査役会の同意を得ております。

監査役候補者は次のとおりです。

わた なべ かず まさ

渡 邊 一 正 (昭和11年12月8日生)

独立

社外

再任

■ 略歴、当社における地位（重要な兼職の状況）

昭和55年12月	渡辺商事(株)代表取締役社長	(重要な兼職の状況)
平成3年2月	当社監査役（現任）	渡辺商事(株)代表取締役会長
平成25年8月	渡辺商事(株)代表取締役会長（現任）	

■ 所有する当社の株式数 29,340株

- (注) 1. 候補者と当社との間には、特別の利害関係はありません。
 2. 監査役候補者 渡邊一正氏は、社外監査役候補者です。
 3. 社外監査役候補者に関する事項は次のとおりです。

(1) 社外取締役候補者の選任理由

- ① 渡邊一正氏は、これまで培ってきた豊富なビジネス経験及び知見を活かし経営全般の監視と適切な助言を期待し、社外監査役候補者といたしました。
 ② 当社は渡邊一正氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

(2) 社外監査役候補者が当社の社外監査役に就任してからの年数

渡邊一正氏の当社の社外監査役としての在任期間は、本総会終結の時をもって25年4ヶ月となります。

4. 指名に当たっての方針と手続き

監査役候補者については、当社事業についての知識や経験、財務・会計に関する知見等を総合的な視点により指名しております。手続きについては、代表取締役が提案し、独立社外役員会の検討、助言を踏まえ取締役会で決議しております。

以 上

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

1 企業集団の現況

(1) 事業の経過及び成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業業績や雇用環境の改善などにより緩やかな回復基調で推移いたしましたが、年度末にかけては新興国の景気減速や円高の進行などにより景気停滞感が強まりました。また、個人消費にも力強さが見られない状況で推移しており、先行きは不透明な状況が継続しております。

このような環境のなかで、当社グループは各事業会社において、環境の変化に対応した諸施策の実施や更なる成長のための業態の進化に注力いたしました。

これらの結果、当連結会計年度の業績は、

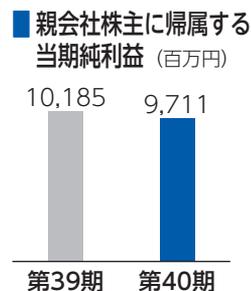
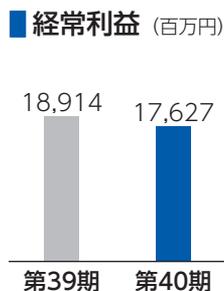
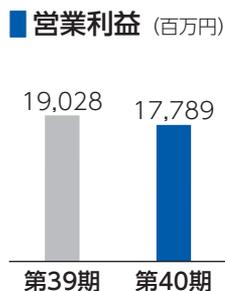
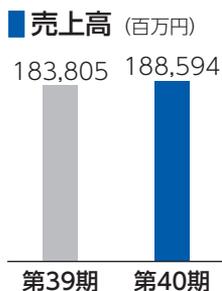
売上高
1,885億94百万円 (前年同期比 2.6%増)

営業利益
177億89百万円 (前年同期比 6.5%減)

経常利益
176億27百万円 (前年同期比 6.8%減)

親会社株主に帰属する当期純利益
97億11百万円 (前年同期比 4.7%減)

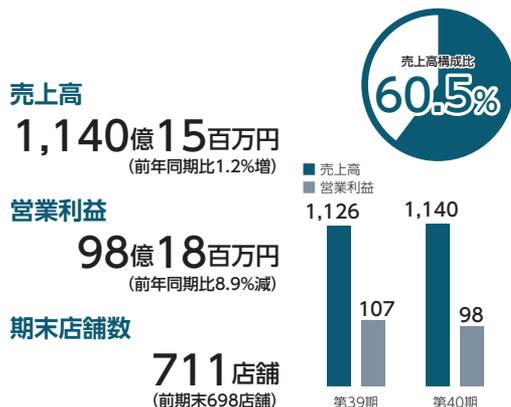
となりました。



各事業区分別の状況は以下のとおりです。

ファッション事業 **AOKI**

主に郊外のロードサイドにチェーンストア方式で紳士服及び婦人服、服飾品並びにファッション商品を販売する小売専門店「AOKI」、20代から40代のメンズ及びレディスをターゲットに、ビジネス&ビジカジの新たなスタイリングを提案する「ORIHICA」を展開しております。



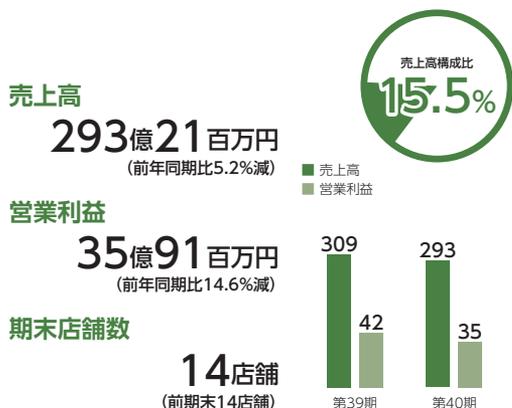
AOKIでは、「プレミアムウォッシュスーツ」等の機能性商品やお好みのデザインに仕立てられる「パーソナルオーダースーツ」の提案の強化及びビジカジ（ビジネス&カジュアル）スタイルのニーズの高まりに対応し、秋冬よりORIHICA（オリヒカ）とコラボレーションしたセットアップスーツを展開いたしました。また、就活生に向けた「究極の就活スーツ」を発売するとともに、年々顧客層が広がっている女性のお客様に向けた「楽・らく・キレイ」シリーズを展開するなど、レディス商品の更なる拡充を図りました。営業面では、「あなたのスタイリストAOKI」の浸透とスタイリング接客により客単価が上昇いたしました。店舗面では、イトーヨーカドーへの初出店を含め12店舗を新規出店する一方、移転等により2店舗を閉鎖した結果、期末店舗数は567店舗（前期末557店舗）となりました。

ORIHICAは、昨年の10月に初のテレビCMを開始し新たなお客様への訴求を図りました。また、ビジネススタイルの多様化に対応したジャケット・パンツスタイルの「THE 3rd SUITS（サードスーツ）」を展開し、20代から40代のビジネスマンを中心に大好評をいただきました。店舗面では、12店舗を新規出店する一方、営業効率改善のため9店舗を閉鎖した結果、期末店舗数は144店舗（前期末141店舗）となりました。

これらの結果、新規出店効果や客単価の上昇及びORIHICAが堅調に推移したこと等により、売上高は1,140億15百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益は夏のビジネススタイルの変化や暖冬の影響等により既存店が苦戦し98億18百万円（前年同期比8.9%減）となりました。

アニヴェルセル・ブライダル事業 ANNI VERSAIRE

結婚式を通じて感動とゆったりするサービスをご提供するゲストハウススタイルの挙式披露宴施設を展開しております。また、アニヴェルセル表参道は、記念日をコンセプトに誕生しチャペルやパーティースペースのほか、パリスタイルのカフェを併設しております。



ゲストハウスウエディングスタイルの挙式披露宴施設を展開しているアニヴェルセル株式会社は、施設の活性化として「アニヴェルセル 表参道」の1階エントランスホールをはじめ、6施設のリニューアルを実施いたしました。また、オリジナルジュエリー及びベビーリングの販売並びにオリジナルティアラのレンタル及びプロポーズプランを強化いたしました。

これらの結果、組単価は維持できたものの施行組数の減少等により、売上高は293億21百万円（前年同期比5.2%減）、営業利益は35億91百万円（前年同期比14.6%減）となりました。



カラオケルーム運営事業



南仏にある地上の楽園と呼ばれるコート・ダジュールをテーマに、品のよい歌と語らいのさわやかにつろぎ空間の提供をコンセプトとして、カラオケルーム（コート・ダジュール）を展開しております。

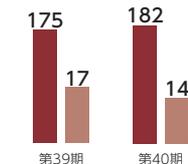
売上高

182億40百万円
(前年同期比4.1%増)



営業利益

14億89百万円
(前年同期比13.0%減)



期末店舗数

183店舗
(前期末169店舗)



株式会社ヴァリックのカラオケルーム運営事業は、期間限定メニューの強化及び法人企業や団体のニーズに合わせたパーティーコースの提案を強化するとともに、有名アーティストや人気キャラクターとのコラボレーションキャンペーンを実施し来店促進を図りました。また、世界初となる最新映画をカラオケルームで鑑賞できるプライベートシネマ「シネカラ」のサービスをスタートいたしました。店舗面では、駅前を中心に8店舗を新規出店するとともに大阪地区の7店舗を譲受けた一方、1店舗を閉鎖した結果、期末店舗数は、183店舗（前期末169店舗）となりました。

これらの結果、売上高は182億40百万円（前年同期比4.1%増）、営業利益はリニューアル費用等が増加し14億89百万円（前年同期比13.0%減）となりました。



複合カフェ運営事業

快活
CLUB

リゾートアイランドのバリ島をイメージし、リラックスをテーマに時代にあった癒しの空間を提供する複合カフェ（快活CLUB等）を展開しております。



株式会社ヴァリックの複合カフェ運営事業は、期間限定メニューの強化及び各種タイアップキャンペーンや快活アプリの導入など様々なサービスの充実により来店促進を図りました。設備面では、アミューズメントコンテンツの拡充や女性専用エリアの拡大を目的として18店舗のリニューアルを行い既存店の活性化に注力いたしました。店舗面では、初の女性専用店舗や駅前出店を含め36店舗を積極的に新規出店する一方、1店舗を閉鎖した結果、期末店舗数は295店舗（前期末260店舗）となりました。

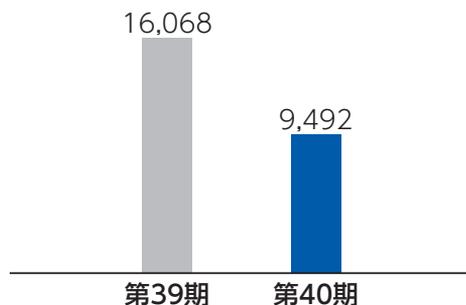
これらの結果、新規出店効果と既存店が引き続き好調に推移したことにより、売上高は270億54百万円（前年同期比19.1%増）、営業利益は22億91百万円（前年同期比26.8%増）と増収増益になりました。



(2) 設備投資の状況

当連結会計年度の設備投資は、総額94億92百万円となりました。その主たるものは、ファッション事業で24店舗（AOKI 12店舗、ORIHICA 12店舗）、カラオケルーム運営事業で15店舗（譲受け7店舗を含む）及び複合カフェ運営事業で36店舗の新規出店に係るものです。

設備投資額 (百万円)



(3) 資金調達の状況

当連結会計年度において、設備投資の資金として長期借入れを50億円実施いたしました。

(4) 事業の譲渡、吸収分割又は新設分割の状況

該当事項はありません。

(5) 他の会社の事業の譲受けの状況

重要な事業の譲受けはありません。

(6) 吸収合併又は吸収分割による他の法人等の事業に関する権利義務の承継の状況

該当事項はありません。

(7) 他の会社の株式その他の持分又は新株予約権等の取得又は処分の状況

該当事項はありません。

(8) 対処すべき課題

雇用や所得環境の改善及び政府の各種政策を背景に景気は緩やかな回復基調で推移するものと思われませんが、海外経済や為替、消費税率引き上げの動向など、先行きは予断を許さない状況が続くものと思われま。このような環境のなかで、当社グループは時代の変化に伴う消費者ニーズの多様化に対応した諸施策を実施し、機動的、効率的な経営を推進するとともに、新規出店の継続と既存店の活性化に積極的に取り組み、事業基盤の強化に努めてまいります。

AOKIは、中期的な成長を見据えた積極的な改装投資の実施とスタイリスト制度の深耕により既存店の活性化に注力するとともに、多様化する消費者ニーズへの対応を的確に行い、お客様満足を追求してまいります。

ORIHICAは、商品力や営業力の強化を継続するとともに、業務効率の向上により収益力を更に強化してまいります。新規出店は、ファッション事業で13店舗を予定しております。

アニヴェルセル・ブライダル事業は、各施設の強みやコンセプトを明確に訴求し、アニヴェルセルのブランド力向上を図るとともに、業務の改善や施設のリニューアル等により、営業効率の改善を図ります。

カラオケルーム運営事業は、期間限定メニューやパーティーコースの強化及び各種コラボレーションキャンペーンの実施、積極的なリニューアルによる既存店の活性化に注力するとともに、年間9店舗の新規出店を予定しています。

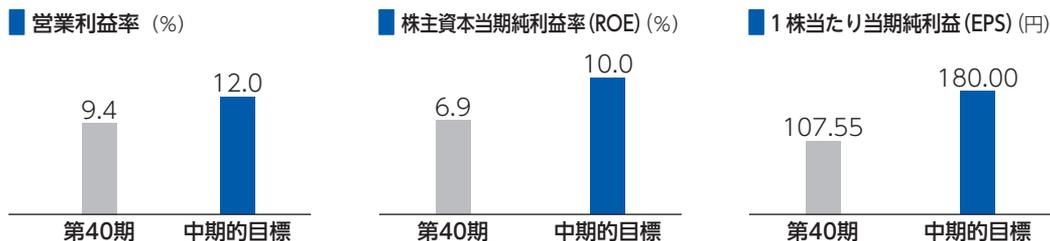
複合カフェ運営事業は、多彩なコンテンツの拡充と各種メニューの強化に注力し、業態の進化を図るとともに、女性専用エリアの拡大及び駅前への出店を中心に44店舗の積極的な新規出店を行い、ドミナント化を推進してまいります。

以上の諸施策を的確に実施し、業績の向上に全力を上げて邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のあたたかいご支援とご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

経営指標の中期的目標

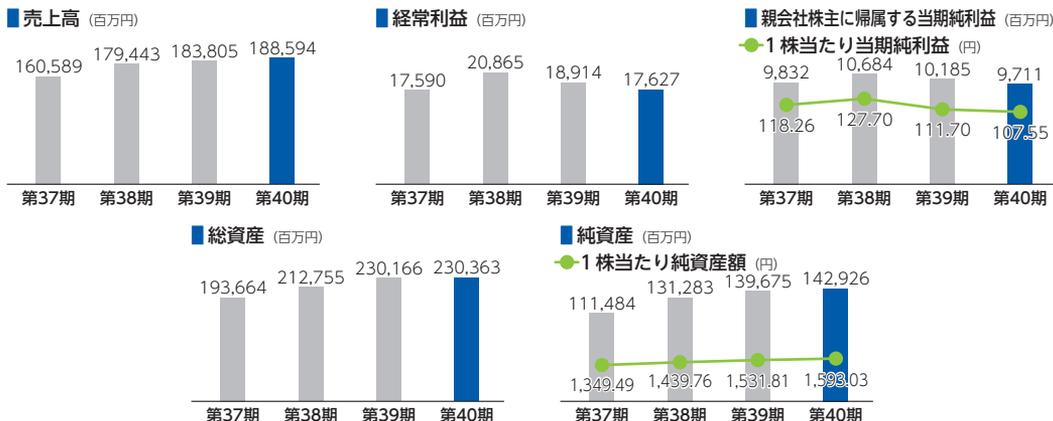
グループ全体で安定的成長路線を確保し、
中期的目標（平成26年5月発表）の経営指標達成を目指す



(9) 財産及び損益の状況

区分	第37期 平成25年3月期	第38期 平成26年3月期	第39期 平成27年3月期	第40期 (当連結会計年度) 平成28年3月期
売上高 (百万円)	160,589	179,443	183,805	188,594
経常利益 (百万円)	17,590	20,865	18,914	17,627
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	9,832	10,684	10,185	9,711
1株当たり当期純利益 (円)	118.26	127.70	111.70	107.55
総資産 (百万円)	193,664	212,755	230,166	230,363
純資産 (百万円)	111,484	131,283	139,675	142,926
1株当たり純資産額 (円)	1,349.49	1,439.76	1,531.81	1,593.03

- (注) 1. 1株当たり当期純利益は期中平均発行済株式総数から期中平均自己株式数を控除した株式数により算出しております。また、1株当たり純資産額は期末発行済株式総数から期末自己株式数を控除した株式数により算出しております。
2. 当社は、平成26年1月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり当期純利益及び1株当たり純資産額につきましては、当該株式分割が第37期の期首に行われたと仮定して算定しております。
3. 第38期の売上高、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、既存店の増収や新規出店により増加いたしました。
4. 第39期の売上高は、新規出店等により増加いたしました。経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、ファッション事業における消費税率引き上げの影響等により減少いたしました。
5. 第40期(当連結会計年度)の状況につきましては、前記「(1) 事業の経過及び成果」に記載のとおりです。



(10) 重要な子会社の状況

① 重要な子会社の状況

会社名	資本金 (百万円)	当社の出資比率 (%)	主要な事業内容
(株)AOKI	100	100.0	紳士服、婦人服及び服飾品並びにファッション商品の企画販売
アニヴェルセル(株)	100	100.0	結婚式場の運営
(株)ヴァリック	100	100.0	カラオケルーム、複合カフェ等の 娯楽施設の運営

② 事業年度末日における特定完全子会社の状況

会社名	住所	帳簿価額の合計額	当社の総資産額
(株)AOKI	神奈川県横浜市都筑区葛が谷6番56号	57,262百万円	158,902百万円

(11) 主要な事業所及び店舗数 (平成28年3月31日現在)

	AOKI	ORIHICA	アニヴェルセル	コート・ダジュール	快活CLUB	合計
北海道	24	-	-	-	4	28
青森県	4	-	-	-	-	4
岩手県	4	-	-	2	4	10
宮城県	8	4	-	6	5	23
秋田県	3	-	-	1	3	7
山形県	2	-	-	1	5	8
福島県	7	1	-	1	7	16
茨城県	15	3	-	4	11	33
栃木県	11	1	-	1	5	18
群馬県	12	-	-	1	8	21
埼玉県	52	17	1	6	22	98
千葉県	42	15	1	11	22	91
東京都	70	30	4	32	15	151
神奈川県	56	20	2	34	16	128
新潟県	10	2	-	3	8	23
富山県	9	-	-	2	2	13
石川県	8	-	-	5	4	17
福井県	3	-	-	6	-	9
山梨県	6	-	-	2	3	11
長野県	21	-	1	13	6	41
岐阜県	12	1	-	-	7	20
静岡県	22	4	-	8	9	43
愛知県	54	15	1	9	26	105
三重県	11	-	-	2	7	20
滋賀県	6	2	-	2	3	13
京都府	5	1	-	3	7	16
大阪府	33	14	2	15	22	86
兵庫県	12	10	1	6	16	45
奈良県	5	1	-	2	3	11
和歌山県	-	-	-	-	2	2
島根県	-	-	-	-	2	2
岡山県	-	-	-	2	6	8
広島県	5	3	-	-	5	13
山口県	-	-	-	-	2	2
徳島県	-	-	-	-	2	2
香川県	-	-	-	-	3	3
福岡県	19	-	1	3	7	30
佐賀県	-	-	-	-	2	2
長崎県	3	-	-	-	2	5
熊本県	7	-	-	-	5	12
大分県	-	-	-	-	3	3
宮崎県	1	-	-	-	3	4
鹿児島県	5	-	-	-	1	6
合計	567	144	14	183	295	1,203

(注) 快活CLUBの神奈川県及び長野県には、「快活フィットネスCLUB」がそれぞれ1店舗含まれております。

(12) 従業員の状況 (平成28年3月31日現在)

① 企業集団の従業員の状況

事業区分	従業員数 (名)	前連結会計年度末比増減 (名)
ファッション事業	2,219 (2,342)	△9 (△20)
アニヴェルセル・ブライダル事業	722 (476)	△31 (△36)
カラオケルーム運営事業	278 (1,225)	17 (89)
複合カフェ運営事業	483 (2,012)	81 (333)
全社 (共通)	63 (40)	1 (△1)
合計	3,765 (6,095)	59 (365)

- (注) 1. 従業員数は、就業員数を記載しております。
 2. 上記従業員数の(外書)は、有期契約の従業員(パート社員、アルバイトは1日8時間換算)の当連結会計年度の平均雇用人数です。
 3. 全社(共通)として記載されている従業員数は、特定の事業に区分できない管理部門等に所属しております。

② 当社の従業員の状況

従業員数 (名)	前事業年度末比増減 (名)	平均年齢 (歳)	平均勤続年数 (年)
63 (40)	1 (△1)	42.8	14.7

- (注) 1. 従業員数は、就業員数を記載しております。
 2. 上記従業員数の(外書)は、有期契約の従業員(パート社員、アルバイトは1日8時間換算)の年間平均雇用人数です。
 3. 従業員は、管理部門等に所属しております。

(13) 主要な借入先の状況 (平成28年3月31日現在)

借入先	借入残高 (百万円)
(株)横浜銀行	8,975
(株)三井住友銀行	8,350
(株)みずほ銀行	7,500
(株)八十二銀行	4,400
(株)りそな銀行	4,000
(株)北陸銀行	1,400
(株)名古屋銀行	1,200

(注) 平成28年3月末現在の借入残高が10億円を超える金融機関を記載しております。

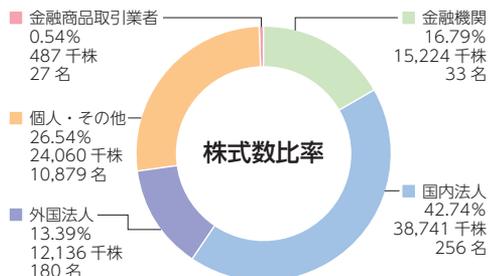
(14) その他企業集団の現況に関する重要な事項

該当事項はありません。

2 株式の状況 (平成28年3月31日現在)

- (1) 発行可能株式総数 133,679,900株
- (2) 発行済株式の総数 90,649,504株
- (3) 単元株式数 100株
- (4) 株主数 11,375名
- (5) 大株主 (上位10名)

所有者別株式分布状況



株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
(株)アニヴェルセルHOLDINGS	35,115	39.16
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口)	4,578	5.11
日本マスタートラスト信託銀行(株) (信託口)	4,013	4.48
青木拡憲	2,560	2.86
青木寛久	2,560	2.86
青木彰宏	2,560	2.86
青木柁允	2,560	2.86
AOKIホールディングス取引先持株会	2,075	2.31
THE BANK OF NEW YORK MELLON SA/NV 10	1,754	1.96
AOKIホールディングス従業員持株会	1,354	1.51

- (注) 1. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
2. 日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口) 及び日本マスタートラスト信託銀行(株) (信託口) の持株数は、すべて信託業務に係るものです。

3 会社役員 の 状況

(1) 取締役及び監査役の状況 (平成28年3月31日現在)

地位	氏名	担当及び重要な兼職の状況
代表取締役会長	青木 拓 憲	(株)アニヴェルセルHOLDINGS代表取締役副会長
代表取締役副会長	青木 寛 久	(株)アニヴェルセルHOLDINGS代表取締役会長 アニヴェルセル(株)取締役会長
代表取締役社長	青木 彰 宏	(株)アニヴェルセルHOLDINGS取締役副社長 (株)AOKI代表取締役会長
取締役副社長	長谷川 八 郎	グループ店舗開発担当
取締役副社長	中 林 佑 丞	(株)ヴァリック代表取締役社長
取締役副社長	田 村 春 生	グループ管理・財務担当
常務取締役	島 屋 紀 明	グループ渉外担当
常務取締役	栗 田 宏	グループ新規事業担当
常務取締役	清 水 彰	(株)AOKI代表取締役社長
常務取締役	荒 木 涉	グループ人事担当 (株)AOKI専務取締役
常務取締役	野 口 達 巳	グループ商品戦略担当 (株)AOKI専務取締役
常務取締役	中 村 宏 明	グループ戦略担当
常務取締役	青 木 柁 允	(株)アニヴェルセルHOLDINGS代表取締役社長 アニヴェルセル(株)取締役副会長
取締役	稲 垣 稔	公認会計士
取締役	尾 原 蓉 子	(一社)ウィメンズ・エンパワメント・イン・ファッ ション代表理事
常勤監査役	牧 倫 匡	
監査役	中 村 憲 侍	
監査役	渡 邊 一 正	渡辺商事(株)代表取締役会長
監査役	發 知 敏 雄	公認会計士

- (注) 1. 取締役稲垣稔及び尾原蓉子の両氏は、いずれも会社法第2条第15号に定める社外取締役です。また、両氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。
2. 監査役渡邊一正及び發知敏雄の両氏は、いずれも会社法第2条第16号に定める社外監査役です。また、両氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

3. 監査役發知敏雄氏は、公認会計士の資格を有しており財務及び会計に関する相当程度の知見を有しております。
4. 平成27年6月26日開催の第39回定時株主総会において、中村憲侍氏は取締役を任期満了により退任、新たに監査役に選任され、就任いたしました。
5. 取締役荒木涉氏及び尾原蓉子氏並びに監査役發知敏雄氏は、平成27年6月26日開催の第39回定時株主総会において新たに選任され、就任いたしました。
6. 平成27年6月26日開催の第39回定時株主総会において、栗林一夫氏は監査役を辞任により退任されました。

(2) 取締役及び監査役の報酬等の総額

区分	支給人員 (名)	支給額
取締役 (うち社外取締役)	14名 (2名)	342百万円 (23百万円)
監査役 (うち社外監査役)	5名 (3名)	22百万円 (8百万円)
合計	19名	365百万円

- (注) 1. 取締役の支給額には、使用人兼務取締役の使用人分給与は含まれておりません。
2. 取締役の報酬限度額は、平成20年6月20日開催の第32回定時株主総会において年額4億50百万円以内（ただし、使用人兼務取締役の使用人分給与は含まない。）と決議いただいております。
3. 監査役の報酬限度額は、平成20年6月20日開催の第32回定時株主総会において年額60百万円以内と決議いただいております。
4. 上記の支給額には、以下のものも含まれております。
- ・当事業年度における役員賞与引当金の繰入額
 取締役 12名 35百万円 (うち社外取締役 1名 2百万円)
 監査役 1 // 1 //
 - ・当事業年度における役員退職慰労引当金の繰入額
 取締役 12名 84百万円
 監査役 1 // 0 //
5. 上記のほかに、第39回定時株主総会の決議に基づき、役員退職慰労金を退任取締役1名に121百万円支給しております。
6. 役員報酬決定方針
 取締役の報酬は、固定の基本報酬と業績連動の賞与からなり、株主総会で承認いただいた上限の範囲内で各取締役の職位、業績、能力に基づき、独立社外取締役も入った役員報酬決裁会議によって決定しております。なお、社外取締役の報酬については、独立性維持の観点から固定報酬としております。

(3) 社外役員に関する事項

- ① 他の法人等との兼職状況（他の法人等の業務執行者である場合）及び当社と当該他の法人等との関係
 「(1) 取締役及び監査役の状況」に記載しております重要な兼職の状況につきまして、取締役稲垣稔及び尾原蓉子の両氏並びに監査役渡邊一正及び發知敏雄の両氏が兼務している他の法人等と当社との間には、重要な関係はありません。
- ② 他の法人等の社外役員の兼職状況及び当社と当該他の法人等との関係
 該当事項はありません。
- ③ 当事業年度における主な活動状況
 取締役会及び監査役会への出席状況

区分	氏名	主な活動状況
取締役	稲垣 稔	当事業年度に開催された取締役会には14回中12回出席しました。その他重要な会議にも適宜出席し、公認会計士としての専門的な見地から、経営の監視と健全な経営のための適切な発言を行っております。
取締役	尾原 蓉子	取締役就任後に開催された取締役会には9回中7回出席しました。ファッション業界に関する豊富な知識と経験、また、会社経営での経験から、経営の監視と健全な経営のための適切な発言を行っております。
監査役	渡邊 一正	当事業年度に開催された取締役会には14回中11回、監査役会には12回中12回出席し、議案の審議に必要な質問と豊富な経験に基づく適切な発言を行っております。
監査役	發知 敏雄	監査役就任後に開催された取締役会には9回中8回、監査役会には9回中9回出席し、議案の審議に必要な質問と豊富な経験に基づく適切な発言を行っております。

4 会計監査人の状況

(1) 会計監査人の名称

PwCあらた監査法人

(2) 報酬等の額

区分	報酬等の額（百万円）
当社が支払うべき報酬等の額	84
当社及び当社子会社が支払うべき金銭その他の財産上の利益の合計額	86

- (注) 1. 会計監査人の報酬等に監査役会が同意した理由
当監査役会は、日本監査役協会が公表する「会計監査人との連携に関する実務指針」を踏まえ、監査計画における監査時間及び監査報酬の推移並びに過年度の監査計画と実績の状況を確認し、報酬額の見積りの妥当性を検討した結果、会計監査人の報酬等について、会社法第399条第1項の同意を行っております。
2. 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬等の額を明確に区分しておらず、実質的にも区分できませんので、当社が支払うべき報酬等の額にはこれらの合計額を記載しております。
3. 当社子会社は、会計監査人に対して、公認会計士法第2条第1項の業務以外の業務である財務デューデリジェンス業務についての対価を支払っております。

(3) 会計監査人の解任又は不再任の決定の方針

監査役会は、会計監査人の職務の執行に支障がある場合等その必要があると判断した場合は、会計監査人の解任又は不再任に関する議案を決定し、取締役会は、当該決定に基づき、当該議案を株主総会に提出いたします。

また、監査役会は、会計監査人が会社法第340条第1項各号に定める項目に該当すると認められる場合は、監査役全員の同意に基づき監査役会が、会計監査人を解任いたします。この場合、監査役会が選定した監査役は、解任後最初に招集される株主総会におきまして、会計監査人を解任した旨と解任の理由を報告いたします。

5 業務の適正を確保するための体制及びその運用状況

(1) 業務の適正を確保するための体制

業務の適正を確保するための体制に関する決定内容の概要は以下のとおりです。

① 取締役及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

- イ 当社グループの全役員・全従業員は、「社会性の追求」「公益性の追求」「公共性の追求」の3つの経営理念に基づき、経営・業務活動を推進することを基本とする。
- ロ 取締役会を毎月1回開催することに加え必要があるときは随時開催し、重要な業務執行に関する意思決定を行うとともに、取締役の職務執行を監督する。
- ハ 常勤の取締役と子会社の社長から構成される常務会を月1回、また、グループ週次報告会を開催し、子会社を含めた経営課題の検討や報告を行う。
- ニ 執行部門から独立した監査室により、業務運営の適正・有効性を検証する。
- ホ 「内部通報制度」の活用により、問題の早期発見と、適時適切な対応を行う。
- ヘ グループ会社全てに適用する「グループコンプライアンス規程」を定め、当該規程に基づきコンプライアンス委員会が主催する弁護士を含めた法務相談会を定期的に開催し、勉強会を適宜開催するとともに、コンプライアンスの周知徹底を図る。
- ト 市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力とは一切の関係を遮断するとともに、これら反社会的勢力に対しては、関係機関と緊密に連携し、事由の如何を問わず、グループとして組織的に毅然とした姿勢をもって対応する。

② 取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

取締役の職務の執行に係る情報は、「文書管理規程」や「取締役会規程」等の社内規程に基づき適切に保存・管理する。

③ 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

- イ グループ会社全てに適用する「グループリスク管理規程」を定め、当該規程に基づきリスクマネジメント委員会を設置し、組織目標の達成を阻害する要因として想定されるリスクの分析と対応策について検討し、その体制を整備する。
- ロ 自然災害などの緊急事態に備え、個別のマニュアルを作成し、訓練や緊急時の対応の指針とする。

④ 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

- イ 定例取締役会を月1回、その他臨時取締役会を適宜開催するとともに、常勤の取締役と子会社の社長から構成される常務会を月1回、また、グループ週次報告会を開催し、子会社を含めた経営課題の検討や報告を行う。
- ロ 取締役会において取締役の業務分担を決定し、取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保する。
- ハ 執行役員制度を導入し、経営の意思決定の迅速化を図る。

- ⑤ **当社及び子会社からなる企業集団における業務の適正を確保するための体制**
- イ 「社会性の追求」「公益性の追求」「公共性の追求」の3つの経営理念は、グループ会社全てに適用する最も基本となる行動指針と位置付ける。
 - ロ グループ横断的な業務を担当する取締役は、各社の業務について十分にその実態を把握し適切な指示を与えるとともに、適宜社長や取締役会へ報告する。
 - ハ 「常務会規程」に基づき、各子会社の取締役会における重要決定事項は、毎月1回開催する常務会で報告を行う。
 - ニ 当社監査室は、グループ全体の内部監査を実施・確認し、業務の適正の確保に対する検証を行う。
- ⑥ **監査役職務を補助すべき使用人に関する事項、当該使用人の取締役からの独立性に関する事項、当該使用人に対する指示の実効性の確保に関する事項**
- イ 監査役は、経営管理室の従業員に、監査業務に必要な事項を命令することができるものとする。
 - ロ 前号の従業員は、監査役からの監査業務に必要な命令に関し、取締役等の指示命令を受けないものとし、監査業務の実効性を確保する。
 - ハ 前号①②に関する事項は、監査役会から取締役会にその整備を要請する旨を「監査役会規程」に明記し、これを徹底する。
- ⑦ **当社及び子会社の取締役及び使用人等が監査役に報告するための体制その他の監査役への報告に関する体制、報告をしたことを理由として不利な取扱いを受けないことを確保するための体制**
- イ 監査役は、取締役会や常務会その他重要な会議に出席し、あるいは会議議事録やその他の資料を閲覧して、情報を共有化することができる。
 - ロ 監査室は、監査役への内部監査の結果等の適切な報告を行い、緊密な連携を保つものとする。
 - ハ 監査役は、必要に応じ、当社及び子会社の取締役・執行役員・従業員並びに子会社の監査役に対し、業務の報告を求めることができる。
 - ニ 当社グループの役員及び従業員は、法令等の違反行為等、当社グループに著しい損害を及ぼすおそれのある事実について発見したときは、直ちに当社監査役に報告する。
 - ホ 当社グループは、「公益通報者保護に関する内部規程」で通報者に対して不利益な取扱いを行わないことを規定している。
- ⑧ **その他監査役職務の実効的に行われることを確保するための体制**
- イ 代表取締役と監査役との定期的な意見交換や、監査役と子会社監査役及び内部監査部門との緊密な連携により監査役職務の実効性を高める。
 - ロ 監査役は、会計監査人と監査実施状況並びに当社及び子会社の監査に関する情報・意見交換等を行うことにより緊密な連携を図り、効率的な監査役職務を実施する。
 - ハ 監査役が、その職務の執行について生ずる費用の前払い又は償還等の請求をしたときは、当該監査役職務の執行に必要でないと認められた場合を除き、速やかに当該費用又は債務を処理する。

(2) 内部統制システムの運用状況

業務の適正を確保するための体制の当期における運用状況の概要は、以下のとおりです。

① コンプライアンス体制

法令違反や不正行為を未然に防止すること等を目的として、コンプライアンス委員会が主催する弁護士を含めた法務相談会を定期的を実施しており、当期において12回開催いたしました。また、内部通報制度は社内における周知を図ることで活用され、通報や相談内容に対して適切な対応がなされております。

② リスク管理体制

リスクマネジメント委員会は、組織目標の達成を阻害する要因として想定されるリスクの分析と対応について随時見直しを行っております。当期においては、個人情報管理体制の強化を図るため、当該委員会が主動し、「グループ特定個人情報取扱規程」の新設や「グループ情報保護管理規程」及び「グループ情報セキュリティ規程」等の改訂を行うとともに、個人情報の取扱い方法に関する社内勉強会を開催しております。

③ 取締役の職務執行

当期において取締役会を14回開催し、法令及び定款に定められた事項及びその他経営に関する重要事項の決議を行うとともに、月次での業績分析や評価を行っております。また、社外取締役を2名選任しており、取締役会における議論に積極的に貢献するとの観点から、情報交換と認識共有を図るため、社外取締役と社外監査役をコアメンバーとする独立社外役員会を定期的を開催しております。なお、取締役の効率的な職務執行や迅速な経営の意思決定を図ることを目的として、取締役の業務分担や執行役員制度を導入しております。

④ 内部監査の実施

監査室は、「内部監査規程」に基づき内部監査を実施しております。当期においては、子会社の各店舗と当社及び子会社の本社に対してそれぞれ概ね2回の監査を行い、その結果について、定期的に取締役会及び監査役会に報告しております。

⑤ グループ管理体制

毎月開催される常務会において、各子会社の月次決算やその他の重要な事項が報告されることで、各社の状況が把握できる体制となっております。また、監査室は、当社及び子会社の内部監査を実施するとともに、その他独自に内部監査部門を持つ子会社とは定期的な情報交換を行うことで内部統制の実施状況を把握しております。

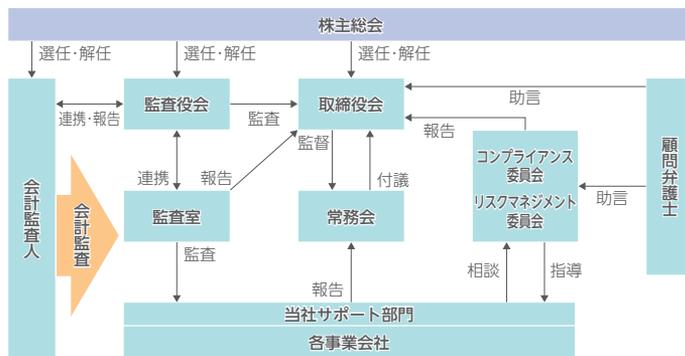
⑥ 監査役の職務執行

監査役会は、社外監査役2名を含む4名から構成され、当期においては、12回開催されており、常勤監査役からのグループ各社の状況に関する報告及び監査役相互による意見交換等が行われております。また、監査役は取締役会や常務会その他の重要な会議に出席し、取締役や執行役員の職務の執行について監視をしております。

⑦ 監査役が効率的に行われることを確保するための体制

監査役は、代表取締役及び子会社の監査役を兼任する取締役、また、会計監査人及び監査室との定期的な情報交換を行うことや、監査役業務の補助者として監査役会事務局を設置すること等により監査役監査の効率性・実効性を高めております。

(コーポレート・ガバナンス図)



6 剰余金の配当等の決定に関する方針

(1) 中長期的な方針

基本方針については、以下のとおり変更いたしました。

利益配分につきましては、経営の重点政策の1つとして認識しており、将来の事業展開、財務体質の強化等を勘案し、配当については、前年実績以上を維持しつつ配当性向30%以上を基本とすること、また、自己株式取得を含めた総還元性向については、特別な資金需要が無いことを前提に50%以上を目指すことを基本方針といたします。

また、中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本とし、その他、基準日を定めて剰余金の配当をすることができることとしており、また、剰余金の配当等を取締役会決議により行うことができるよう定款を変更しております。

内部留保につきましては、今後の継続的な成長のため各事業の設備投資と顧客ニーズに応える商品開発や情報システム投資のための資金需要に備えてまいります。

自己株式の取得、消却につきましては、投資計画や資金の状況、株価等を勘案し、機動的に行う方針としております。

(2) 当期及び次期の配当等

当期末の利益配当につきましては、日頃の株主の皆様のご支援にお応えするため、平成28年5月12日開催の取締役会決議により、1株当たり20円とさせていただきます。この結果、すでにお支払いしております中間配当金の20円と合わせて、年間配当金は前期より4円増額の40円となります。また、配当金の支払開始日（効力発生日）は平成28年6月8日（水曜日）からとさせていただきます。自己株式の取得については、平成28年2月15日開催の取締役会決議により、平成29年1月31日までに上限250万株を取得する予定です。

次期の利益還元について、今回の基本方針と資金需要等を勘案し配当につきましては、1株当たり年間3円増額し中間配当金を21円、期末配当金を22円とし年間配当金は43円を予定しております。自己株式の取得・消却については、投資計画や資金の状況、株価等を勘案し機動的に行ってまいります。

連結貸借対照表 (平成28年3月31日現在)

(単位：百万円)

科目	第40期	(ご参考) 第39期	科目	第40期	(ご参考) 第39期
	平成28年3月31日現在	平成27年3月31日現在		平成28年3月31日現在	平成27年3月31日現在
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	73,899	73,769	流動負債	38,248	43,397
現金及び預金	27,560	29,226	買掛金	18,021	19,867
売掛金	9,437	8,991	1年内返済予定の長期借入金	4,050	4,450
たな卸資産	27,835	26,476	リース債務	1,570	1,578
繰延税金資産	1,953	2,008	未払金	5,130	6,748
その他	7,157	7,104	未払法人税等	2,669	3,789
貸倒引当金	△45	△37	賞与引当金	1,708	1,735
固定資産	156,464	156,396	役員賞与引当金	98	105
有形固定資産	107,846	108,308	その他	4,999	5,123
建物及び構築物	58,900	58,959	固定負債	49,187	47,093
機械、運搬具及び工具器具備品	7,703	7,561	長期借入金	36,275	35,325
土地	36,934	37,095	リース債務	3,117	2,846
リース資産	4,223	4,086	役員退職慰労引当金	1,845	1,838
建設仮勘定	84	605	ポイント引当金	1,014	958
無形固定資産	6,680	6,550	退職給付に係る負債	853	382
投資その他の資産	41,936	41,538	資産除去債務	5,109	4,773
投資有価証券	5,328	6,172	その他	973	969
差入保証金	8,307	8,333	負債合計	87,436	90,491
敷金	20,576	20,176	(純資産の部)		
繰延税金資産	5,694	5,027	株主資本	142,609	138,654
その他	2,070	1,867	資本金	23,282	23,282
貸倒引当金	△40	△40	資本剰余金	27,833	28,757
資産合計	230,363	230,166	利益剰余金	92,929	86,658
			自己株式	△1,436	△45
			その他の包括利益累計額	229	1,021
			その他有価証券評価差額金	612	1,229
			退職給付に係る調整累計額	△383	△208
			新株予約権	87	—
			純資産合計	142,926	139,675
			負債純資産合計	230,363	230,166

連結損益計算書 (平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位：百万円)

科目	第40期	(ご参考) 第39期
	平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで	平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで
売上高	188,594	183,805
売上原価	101,424	97,019
売上総利益	87,170	86,785
販売費及び一般管理費	69,380	67,757
営業利益	17,789	19,028
営業外収益	1,191	1,173
受取利息	108	107
受取配当金	134	138
不動産賃貸料	607	616
その他	340	312
営業外費用	1,353	1,287
支払利息	328	316
不動産賃貸費用	536	527
固定資産除却損	254	122
その他	234	322
経常利益	17,627	18,914
特別利益	68	—
投資有価証券売却益	68	—
特別損失	2,356	1,942
減損損失	1,917	1,942
訴訟和解金	439	—
税金等調整前当期純利益	15,339	16,972
法人税、住民税及び事業税	5,881	7,209
法人税等調整額	△253	△422
法人税等合計	5,628	6,787
当期純利益	9,711	10,185
親会社株主に帰属する当期純利益	9,711	10,185

貸借対照表 (平成28年3月31日現在)

(単位：百万円)

科目	第40期	(ご参考) 第39期	科目	第40期	(ご参考) 第39期
	平成28年3月31日現在	平成27年3月31日現在		平成28年3月31日現在	平成27年3月31日現在
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	31,863	28,823	流動負債	4,762	5,556
現金及び預金	15,902	18,941	1年内返済予定の長期借入金	4,050	4,450
前払費用	172	134	リース債務	5	—
繰延税金資産	38	62	未払金	240	500
未収入金	1,563	1,229	未払費用	58	58
関係会社短期貸付金	8,080	3,040	未払法人税等	132	233
1年内回収予定の関係会社長期貸付金	5,800	5,400	預り金	12	13
その他	306	15	前受収益	168	170
貸倒引当金	△0	△0	賞与引当金	57	51
			役員賞与引当金	36	36
固定資産	127,038	129,422	その他	—	41
有形固定資産	31,772	32,060	固定負債	38,631	37,709
建物	4,857	5,098	長期借入金	36,275	35,325
構築物	52	57	リース債務	12	—
車両運搬具	38	1	退職給付引当金	30	22
工具、器具及び備品	3,889	3,870	役員退職慰労引当金	1,520	1,553
土地	22,916	22,927	資産除去債務	23	23
リース資産	17	—	長期預り敷金保証金	770	784
建設仮勘定	—	103	その他	0	0
無形固定資産	4,028	5,011	負債合計	43,394	43,266
借地権	3,205	3,205	(純資産の部)		
ソフトウェア	739	524	株主資本	114,810	113,763
電話加入権	83	83	資本金	23,282	23,282
ソフトウェア仮勘定	—	1,198	資本剰余金	31,347	32,271
投資その他の資産	91,238	92,350	資本準備金	26,100	26,100
投資有価証券	4,868	5,799	その他資本剰余金	5,247	6,171
関係会社株式	64,750	64,650	利益剰余金	61,616	58,254
出資金	101	101	利益準備金	2,234	2,234
関係会社長期貸付金	18,700	19,000	その他利益剰余金	59,382	56,020
長期前払費用	157	138	固定資産圧縮積立金	58	57
差入保証金	284	322	別途積立金	36,908	36,908
敷金	892	998	繰越利益剰余金	22,415	19,054
繰延税金資産	988	881	自己株式	△1,436	△45
その他	495	457	評価・換算差額等	609	1,215
			その他有価証券評価差額金	609	1,215
資産合計	158,902	158,246	新株予約権	87	—
			純資産合計	115,507	114,979
			負債純資産合計	158,902	158,246

損益計算書 (平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位：百万円)

科目	第40期	(ご参考) 第39期
	平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで	平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで
営業収益	3,713	3,578
経営管理料	3,713	3,578
売上総利益	3,713	3,578
販売費及び一般管理費	3,991	3,942
営業損失	278	363
営業外収益	8,565	8,086
受取利息	208	207
受取配当金	6,462	5,926
不動産賃貸料	1,837	1,902
雑収入	57	49
営業外費用	1,236	1,261
支払利息	267	255
不動産賃貸費用	911	968
雑損失	56	37
經常利益	7,050	6,460
特別利益	68	—
投資有価証券売却益	68	—
特別損失	10	26
減損損失	10	26
税引前当期純利益	7,108	6,433
法人税、住民税及び事業税	115	227
法人税等調整額	189	119
法人税等合計	305	347
当期純利益	6,803	6,086

連結計算書類に係る会計監査人の監査報告

独立監査人の監査報告書

平成28年5月20日

株式会社AOKIホールディングス
取締役会御中

PwCあらた監査法人

指定社員 公認会計士 大塚 啓一 ㊞
業務執行社員指定社員 公認会計士 加藤 達也 ㊞
業務執行社員

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、株式会社AOKIホールディングスの平成27年4月1日から平成28年3月31日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

連結計算書類に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結計算書類に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、連結計算書類の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による連結計算書類の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、連結計算書類の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての連結計算書類の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、株式会社AOKIホールディングス及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

会計監査人の監査報告

独立監査人の監査報告書

平成28年5月20日

株式会社AOKIホールディングス
取締役会 御中

PwCあらた監査法人

指定社員 公認会計士 大塚 啓一 ㊞
業務執行社員

指定社員 公認会計士 加藤 達也 ㊞
業務執行社員

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、株式会社AOKIホールディングスの平成27年4月1日から平成28年3月31日までの第40期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書について監査を行った。

計算書類等に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から計算書類及びその附属明細書に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類及びその附属明細書に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、計算書類及びその附属明細書の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による計算書類及びその附属明細書の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、計算書類及びその附属明細書の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及びその附属明細書の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の計算書類及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

監査役会の監査報告

平成28年5月26日

監 査 報 告 書

株式会社AOKIホールディングス監査役会

常勤監査役 牧 倫 匡 ㊟

監 査 役 中 村 憲 侍 ㊟

社外監査役 渡 邊 一 正 ㊟

社外監査役 發 知 敏 雄 ㊟

当監査役会は、平成27年4月1日から平成28年3月31日までの第40期事業年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

監査役会は、監査の方針、職務の分担等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。

各監査役は、監査役会が定めた監査役監査の基準に準拠し、監査の方針、職務の分担等に従い、取締役、内部監査部門その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。また、取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社及びその子会社から成る企業集団の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）の状況を監視及び検証いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（平成17年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- 三 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人PwCあらた監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

(3) 連結計算書類の監査結果

会計監査人PwCあらた監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

以上

以上

A series of horizontal dashed lines for writing notes.

A series of 20 horizontal dashed lines for writing notes.

A series of horizontal dashed lines for writing notes, spanning the width of the page.

Fashion



Bridal



Entertainment



AOKIグループ REPORT

平成28年3月期 株主通信

平成27年4月1日 ▶ 平成28年3月31日

はじめに

株主の皆様には、平素よりAOKIグループに対し格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当期は、ファッション事業及びエンターテイメント事業において75店舗の新規出店を行うとともに、各事業で環境の変化に対応した新商品・サービスの提供や店舗改装等を実施し、既存店の活性化に注力いたしました。

その結果、新規出店効果及び複合カフェの既存店が堅調に推移したこと等により増収になったものの、ファッション事業における消費環境の低迷や暖冬の影響及びアニヴェルセル・ブライダル事業における施行組数の減少等により減益となりました。

今後の成長に向けた課題

次期におきましては、時代の変化に伴う消費者ニーズの多様化に対応した諸施策を実施し、機動的、効率的な経営を推進するとともに、新規出店の継続と既存店の活性化に積極的に取り組み、事業基盤の強化に努めてまいります。

ファッション事業は、AOKI、ORIHICA合わせて13店舗の新規出店と中期的な成長を見据えた改装及び商品力の強化、スタイリスト制度の深耕による既存店の活性化を積極的に行います。

アニヴェルセル・ブライダル事業は、ブランド力の向上と更なる営業効率の改善に努めます。

エンターテイメント事業は、カラオケ、複合カフェ合わせて53店舗の新規出店の継続と既存店の活性化及び業態の進化に努めます。



代表取締役社長 青木 彰宏

株主の皆様からのご支援とご期待にお応えして

当期末の利益配当は20円(年間40円)とさせていただきます。また、グループ各店舗でご利用いただける「株主御優待券」を発行しております。

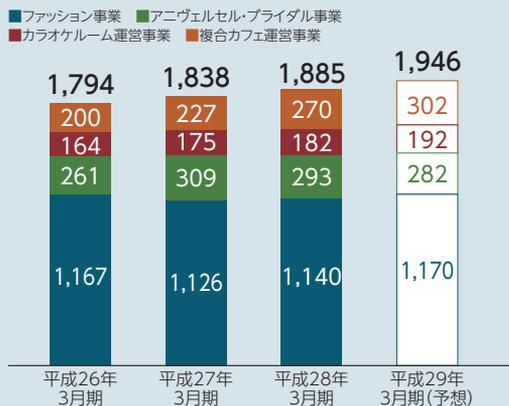
次期の配当につきましては、1株当たり年間3円増額し中間配当金を21円、期末配当金を22円とし年間配当金は43円を予定しております。

今後も各事業が、グループとしてのシナジーを高めながら質の高い安定成長を図り、企業価値の向上を目指してまいります。

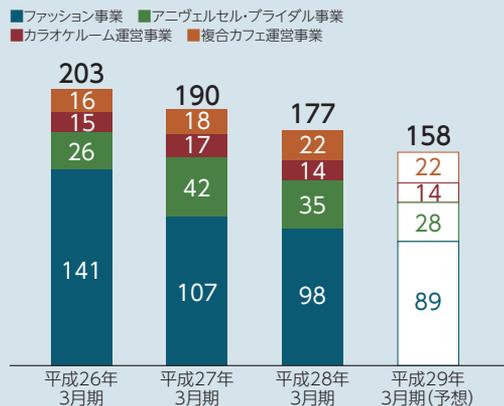
株主の皆様におかれましては、何卒倍旧のご指導ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

連結業績及び配当金の推移

売上高 (単位:億円)



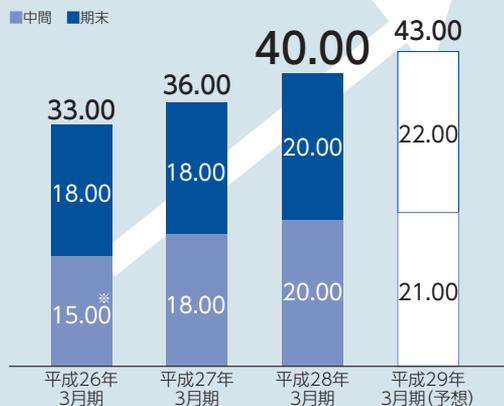
営業利益 (単位:億円)



経常利益／親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:億円)



1株当たり年間配当金 (単位:円)



*平成26年3月期の中間配当金については、平成26年1月1日付で1株を2株の割合で分割した株式分割を考慮して遡及修正した額を記載しております。

利益配分に関する基本方針

利益配分につきましては、経営の重点政策の1つとして認識しており、将来の事業展開、財務体質の強化等を勘案し、配当については、前年実績以上を維持しつつ配当性向30%以上を基本とすること、また、自己株式取得を含めた総還元性向については、特別な資金需要が無いことを前提に50%以上を目指すことを基本方針といたします。

* ファッション事業 AOKI

「本当に洗えるスーツ」の提案強化と TV-CMによるAOKIのモノづくりの訴求を実施

お手入れのしやすさから、年間を通して高まるお客様のニーズにお応えし、ご自宅や、出張先でも気軽に洗濯機で洗える「本当に洗えるスーツ」の提案を強化しました。また、AOKIの創業以来培ってきたテーラード技術を象徴する「ボタン付け」や信州大学との産学協同研究により、快適な着用感を実現した「アームホール」といった、モノづくりを訴求したTV-CMの放映を開始。企業イメージ・ブランド力の向上を図りました。



「洗えるスーツ」イメージ

働く女性をサポートする 「楽・らく・キレイ」シリーズを展開

平成27年秋冬シーズンより、働く女性をサポートするレディースアイテムを「楽・らく・キレイ」シリーズとして発売しています。「楽・らく・キレイ」スーツは一部メディアにおいて肩こりやむくみに悩みを抱える女性におすすめのアイテムとして取り上げられるなど、キャリア女性を中心に大好評をいただきました。

レディース
アイテム
「楽・らく・キレイ」
シリーズ

フレッシュアーズプロモーション CM連動でWEB動画を公開

「フレッシュアーズ応援スーツフェア」の一環で、フレッシュアーズ世代の人気俳優を起用した新TV-CMを放映。TV-CMでは、フレッシュアーズの息子・娘を持つ家族のストーリーを表現しました。また、TV-CMのロングバージョン動画を特設WEBサイトで配信するなど、WEBと連動したプロモーション活動を実施しました。



フレッシュアーズTV-CM

店舗のご案内

株式会社AOKI



AOKI

<http://www.aoki-style.com/shoplist>

* ファッション事業 ORIHICA

ORIHICAブランドで初となるTV-CMをオンエア

ORIHICAでは平成27年秋冬シーズンに、将来的な目標に掲げている300店舗体制に向けたブランド戦略として、ORIHICA単独のTV-CMを制作・放映しました。TV-CMのイメージキャラクターには、俳優の松坂桃李さんを起用。ビジネスアイテムに“自分らしさ”や“遊び心”を取り入れた“新たな装い”を提案するとともに、ORIHICAブランドのさらなる認知度アップを図りました。



ORIHICA TV-CM



イメージキャラクター 松坂桃李さん

期間限定ショップや 話題の施設への出店を強化

ORIHICAの世界感を演出した店舗として「ORIHICA POP UP SHOP」を「二子玉川ライズS.C.」に期間限定オープンしました。さらに大阪の中心部に隣接する日本最大級の大型複合施設「EXPOCITY」に「ORIHICAららぽーと大阪EXPOCITY店」を出店するなど、話題の施設への出店を進めました。



ORIHICA二子玉川
ライズS.C.店
[POP UP SHOP]



ORIHICAららぽーと大阪EXPOCITY店

店舗のご案内

株式会社AOKI



ORIHICA

<http://www.orihica.com/shoplist/>



ファッションを、 より自由に“編集＝EDIT”して楽しむ時代に

拡大するビジネス・ビジネス領域におけるリーディングカンパニーを目指して

BRAND CONCEPT ブランドコンセプト

Key to the new lifestyle

ORIHICAは新しいライフスタイルを開く
“鍵”となるブランドです。

ORIHICAは、お客様もスタッフも、常に新たな“装う楽しさ”を見つけられるブランドとして、2004年秋冬からコレクションをスタートしました。ビジネスシーンをリードする本格仕立てのスーツから、ウィークエンドに着こなすトレンドのカジュアル、そしてあらゆるオカージョンに対応するレディースまでを幅広く展開。次世代のライフスタイルの扉を開く“鍵”となるブランドとして、ファッションをより自由に“編集＝EDIT”して楽しめるアイテムをラインアップしています。

ORIGInal High CAtegory

Original = 独創的で、
High = 高いレベルで、
Category = 違う切り口、
という3つのキーワードの
頭文字からネーミングされました。

PRODUCT&M.D. 商品コンセプト

What's New Fun

ORIHICAが追求するのは
“新たな楽しさ”です。



ORIHICAは、世界のファッション情報が集まる街をルーツとしたビジネス、カジュアル、レディースの各アイテムを展開しています。英国人のクリエイティブ・ディレクター、サリーム・ダロンヴィル氏による、モダンブリティッシュと日本のエッセンスを融合したモノづくりがトレンドに敏感でファッション感覚が高いお客様の支持を集めています。

ORIHICA
クリエイティブ・ディレクター
サリーム・
ダロンヴィル

英マンチェスター大学でファッションデザインを学んだ後、マルベリー社、マッキントッシュ社でクリエイティブ・ディレクターを歴任。その後、英国貿易産業省のエクスポート・プロモーターとして、数多くの英国人デザイナーや英国ブランドの日本進出をサポート。



SHOP CONCEPT

店舗コンセプト

Loft of London

ショップの空間イメージは
“ロンドンのレンガづくりの
アパートメント”

ORIHICAでは、立地環境や客層に合わせた3つの店舗タイプを展開しています。郊外型ショッピングセンターには「アパートメント」、路面店には「レジデンス」、駅ビルやファッションビルには「ソーホー」と、“スーツ発祥の地”であるロンドンをモチーフにした店舗づくりを行っています。また、女性一人でも気軽に入れるように、レディースコーナーやカジュアルコーナーを入口付近に設置するなど、店舗演出にも工夫を凝らしています。

立地環境や客層に合わせた3つの店舗タイプ

あたかもロンドンを訪れたかのようなライブ感が味わえます。

アパートメント



ロンドンの白レンガ造りのアパートがモチーフ

レジデンス



高級なロンドンの邸宅をイメージ

ソーホー



デザイナーズマンションをイメージ

N E W S



THE 3rd SUITS(サード・スーツ)



スーツ、ジャケパンのエッセンスを取り入れた 次世代スーツ「THE 3rd SUITS(サード・スーツ)」を展開

平成27年秋冬シーズンより、“Smart Real Clothing”をコンセプトに、スーツからジャケパンスタイルまで幅広い着こなしが可能な“新たなビジネスウェア”として発売。ビジネススタイルの多様化によって生じるスタイリングに関するお悩みをサポートするアイテムとして、20代から40代のビジネスマンを中心に大好評をいただいています。

スーツの“きちんと感”と、ジャケット&パンツスタイルの“軽快さ”を取り入れたORIHICAオリジナルアイテム「THE 3rd SUITS(サード・スーツ)」を軸に、今後もORIHICAの強みであるビジネススタイルの提案を強化してまいります。

* アニヴェルセル・ブライダル事業



プロポーズ検討中の男性をサポートする「プロポーズプランナー」を発足

アニヴェルセルでは、平成26年の「プロポーズプラン」の提供開始以降、「記憶に残るプロポーズをしたい」という方のサプライズ演出のお手伝いをしてまいりました。数多くの男性の方にご利用いただいている中、プロポーズに関するお悩みの声にお応えるため、専任のプロのスタッフが特別な記念日となるプロポーズをプロデュースする「プロポーズプランナー」を新たに発足しました。

これまでのウエディングで培ってきたノウハウを提供するとともに、結婚式場としては初となるチャットシステムの導入により気軽にリアルタイムで相談できるフォロー体制を整えております。

● スペシャルサイト ●

「プロポーズプランナー
from Anniversaire」

<http://propose.anniversaire.co.jp>

動画で見る「プロポーズプランナー」



「幸せが生まれる、そのそばに。」

<https://www.youtube.com/watch?v=EB8pnO0KHGQ>

体験者レポートも
続々公開中！



「結婚式前夜に仕掛けた、サプライズプロポーズ」

<http://propose.anniversaire.co.jp/report/>

世界で1つのベビーギフトを特製ボックス仕様で発売

オリジナルのジュエリーブランド「et TOUJOURS(エ トゥージュール)」から、お子様の誕生を祝う「ベビーギフト(ベビーリング、スプーン)」の販売を開始しました。愛するお子様の幸せを祈る『3つのお守り』をコンセプトに、幸運を運ぶ誕生石を添えた“ベビーリング”、豊かな食への願いを込めた“ベブースプーン”、最初のお友達として“ベアのぬいぐるみ”を特製のギフトボックスにパッケージ。ご両親はもちろん、親しい方への出産祝いにもぴったりの、お子様の誕生を祝福する贈り物です。



アニヴェルセルの4店舗が 冬季リニューアルオープン

「アニヴェルセル 表参道」「アニヴェルセル みなとみらい横浜」「アニヴェルセル 豊洲」、「アニヴェルセル 白壁」の4店舗で冬季改装を実施しました。表参道店では1Fエントランスホールをウエディングのメインエントランスとしてふさわしい空間に、みなとみらい横浜店では「大人の洗練された高級邸宅」をコンセプトとして「ザ・クラブ」を、豊洲店では、「都心で叶えるリゾートスタイルのウエディングパーティー」をコンセプトとして「ヴィラ プロヴァンス」を、白壁店ではチャペルを始め全館を、それぞれリニューアルしました。

表参道店
1Fエントランスホール



みなとみらい横浜店
「ザ・クラブ」



白壁店フラワーシャワー
シーンイメージ



豊洲店テラス

店舗のご案内

アニヴェルセル株式会社



アニヴェルセル <http://www.anniversaire.co.jp/>

* カラオケルーム運営事業 コート・ダジュール

コート・ダジュールのお客様限定 プレミアムLIVEを開催

人気アーティストCrystal Kayさんとのタイアップキャンペーンを開催。Crystal KayさんのNew Single「桜花」の発売とタイアップし、コート・ダジュールをご利用のお客様限定のプレミアムライブを特賞としました。今後も人気アーティストとのタイアップキャンペーンやご来店のお客様限定イベントを開催し、お客様満足の向上と再来店の促進を図ってまいります。



「シネカラ」を本格始動

ワーナーブラザースジャパン会社と共同で世界初のプライベートシネマ「シネカラ」を本格始動しました。「シネカラ」はワーナー最新映画をカラオケルームで観られるコート・ダジュールだけのサービス。完全個室のため、周りを気にせず食事を楽しみながら映画鑑賞が可能です。首都圏を中心に30店舗（平成28年3月末時点）でサービスが開始されており、今後も導入店舗を拡大する予定です。



シネカライメージ



メディアカンファレンスにて

店舗のご案内

株式会社ヴァリック

コート・ダジュール <http://www.cotedazur.jp/branch/>

株主御優待券について

毎年9月30日及び3月31日現在の株主名簿に記録された株主様に対し、右記の基準により当社グループの各店舗でご利用いただける株主御優待券を発行いたします。

※アニヴェルセル表参道(ウエディングを除きます)は10%割引とさせていただきます。 ※AOKI、ORIHICAは、他の割引券・割引特典と併用いただけます。

ENTERTAINMENT

* 複合カフェ運営事業 快活CLUB

女性専用エリア導入店舗を拡大

店舗の一部をセキュリティーゲートで分けし、「女性だけの安心空間」をご提供する「女性専用エリア～Villa me time～」導入店舗を拡大。さらに業界唯一となる女性専用の「快活CLUB秋葉原駅前店」をオープンしました。



快活CLUB秋葉原駅前店

雑誌読み放題サービス導入

凸版印刷株式会社が提供するWEBブラウザ版雑誌読み放題サービスをベースにした、快活CLUB専用の電子書籍サービス『雑誌 読み放題!』を全店へ導入しました。それまでの平均130タイトルに加え、新たに約35タイトル(順次拡大中)の閲覧が可能になり、読みたい記事をパソコンで好きなだけ読めるようになりました。

ダーツキャンペーンを開催

「ストリートファイターV」とタイアップし『快活ダーツキャンペーン 第5弾』を開催。人気アーティスト「氣志團」、新型オンラインデジタルダーツマシン「VSフェニックスS4」とのコラボキャンペーンなど各種キャンペーンを開催しました。



店舗のご案内

株式会社ヴァリック



快活CLUB

<http://www.kaikatsu.jp/shop>

AOKI / ORIHICA / アニヴェルセル表参道

100株以上1,000株未満
1,000株以上

20%割引券 5枚
20%割引券 10枚



アニヴェルセル

100株以上

披露宴 10万円割引券
1枚



コート・ダジュール / 快活CLUB

100株以上1,000株未満
1,000株以上

総額20%割引券 10枚
総額20%割引券 30枚

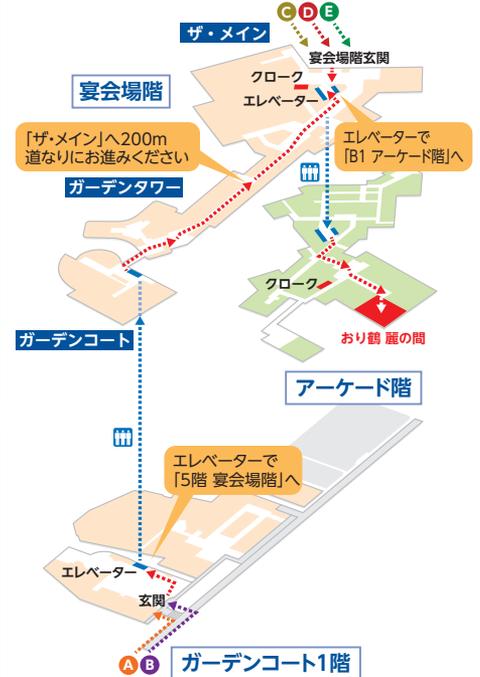


株主総会会場ご案内図

会場 東京都千代田区紀尾井町4番1号 ☎03-3265-1111 (代)
ホテルニューオータニ ザ・メイン
 アーケード階「おり鶴 麗の間」

会場(アーケード階)までの経路

ザ・メイン[宴会場階/フロント]からお越しの方は、宴会場階玄関から入り、エレベーターで「アーケード階」へお下がりください。



ガーデンコート1階からお越しの方は、エレベーターで5階「宴会場階」へお上がりいただいた後、ザ・メインへお進みいただき、その後エレベーターで「アーケード階」へお下がりください。



ホテルニューオータニ ザ・メイン

交通のしるし

- | | | |
|---------------------|---------------------------------|--------|
| A 銀座線・丸ノ内線 | 赤坂見附駅 (赤坂地下歩道 ㊦ 紀尾井町方面口) より徒歩3分 | — 徒歩経路 |
| B 半蔵門線 | 永田町駅 (7番口) より徒歩3分 | — 徒歩経路 |
| C 有楽町線 | 麹町駅 (麹町口) より徒歩6分 | — 徒歩経路 |
| D 丸ノ内線・南北線 | 四ツ谷駅 (赤坂口) より徒歩8分 | — 徒歩経路 |
| E JR 中央線・総武線 | 四ツ谷駅 (麹町口) より徒歩8分 | — 徒歩経路 |

◎ 当日は、会場周辺道路及び駐車場の混雑が予想されますので、お車でのご来場はご遠慮願います。

株式会社AOKIホールディングス

UD FONT
 見やすく読みまちがえにくい
 ユニバーサルデザインフォント
 を採用しています。